

# 北上支部だより

令和6年11月14日発行 No1  
岩手県看護協会 北上支部

## ■支部長あいさつ■

岩手県立中部病院 高橋 文子

会員の皆様には、日頃より北上支部の活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。岩手県看護協会の活動方針に基づき支部の役員、会員の皆様と連携し、活動を進めていきたいと思っております。

2025年を目前にし、高齢化社会・少子化による影響や社会情勢の変化はますます進展しており、医療や介護の需要が高まっています。看護職には医療と生活の両方の視点を持つ専門職として、地域で暮らす様々な世代の人々の健康を支えていくことが求められています。支部としても、看護師・助産師・保健師がやりがいをもって、安心して働き続けることができるよう、多職種間での交流を深めながら活動し、協会活動の啓発普及や研修の企画などに努めてまいります。会員の皆様には引き続き支部活動へのご支援をお願いいたします。

## ■看護フォーラム■

岩手県立中部病院 林 由紀

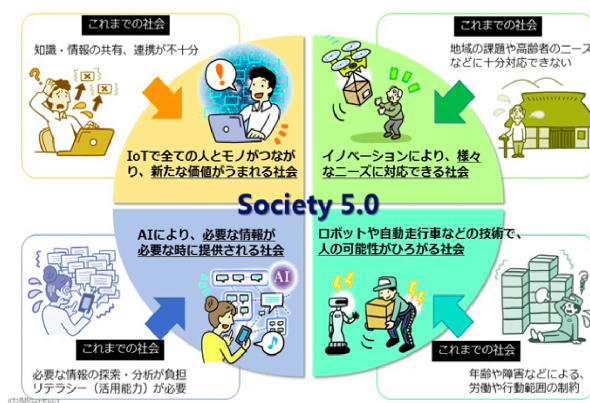
2024年5月11日、「看護師を志した動機と今思うこと」をテーマとした看護フォーラムを北上市と西和賀地域に通学する高校生を対象に、北上市保健・子育て複合施設 hokko にて行われました。13名の高校生が参加し、看護学生や現役の看護師・助産師・保健師・訪問看護師・認定看護師がパネリストとして登壇し、自身の経験や看護師を目指した理由、職場での体験を写真なども交えて楽しく語っていただきました。参加した高校生たちはメモをとりながら話を聞く姿が多くみられ、後半のグループワークではパネリストに積極的に質問をしていました。特に病院や地域での看護師の役割や、現場のリアルな話に強い関心を示し、「将来、看護師になりたい」という声も多く聞かれました。アンケート結果からも「様々な職種の話が聞けて視野が広がった」「インターネットで調べるよりもためになった」などの感想が寄せられ、イベントは好評でした。今回のイベントを通じて、看護師の仕事に対する理解を深め、多くの高校生が看護師を志してくれることを期待します。



## ■看護情報管理研修■

西和賀さわうち病院 米澤 恵利香

2024年9月26日、岩手県立大学看護学部の岡田みずほ先生を講師にお招きし、「看護DXの未来と看護」をテーマに研修会が行われました。当日は会場25名、WEB17名、合計42名の参加をいただきました。看護DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、看護においてデジタル技術を活用し、医療の効率化や質の向上、看護ケアのあり方などの変革を目指す取り組みです。身近なものとして、電子カルテの導入やデジタルデバイスを活用してバイタルサイン値をダイレクトに反映させるシステムなどがあります。これにより、記録の効率化や業務の負担軽減が図られてきました。看護DXを進めるには日々の業務を可視化し分析すること、日々の業務の中で「こういうことができたらいいのにね」を積み重ねていくことが大事であり、自施設における看護DXがどのような形になるか考えさせられました。参加者からは「まずは可視化から取り組みたい」「看護管理者としてとても学びになった。現場で活かせるように頑張りたい」という感想が寄せられました。未来に向けてよりよい看護を提供していくための手段のひとつとして、看護DXを進めていく必要があると感じ有意義な研修となりました。



### ～令和6年度役員紹介～

#### 支部長

高橋 文子 (岩手県立中部病院)

#### 副支部長

亀甲 香 (北上済生会病院)

米澤 恵利香 (西和賀さわうち病院)

#### 書記

下瀬川 知子 (北上済生会病院)

須川 志津 (岩手県立中部病院)

#### 会計

松本 恵子 (北上済生会病院)

昆 修子 (岩手県立中部病院)

#### 職能委員

蛭坂 美咲 (北上市役所)

加藤 みのり (北上済生会病院)

林 由紀 (岩手県立中部病院)

菅原 ひろ美 (岩手県立中部病院)

江本 淳子 (北上済生会病院)

藤田 由紀子 (医心館訪問看護ステーション北上)

#### 推薦委員

伊藤 早苗 (岩手県立中部病院)

中村 岬 (北上済生会病院)

住吉 香奈子 (北上市役所)